

まなびリンク

「大学生参画型探究活動支援プログラム」

慶應義塾大学理工学部3年
安島芽生

目次

- 1 はじめに
- 2 背景・目的
- 3 事業概要
- 4 今年度実施スケジュール
- 5 来年度以降の展望
- 6 期待される効果
- 7 私の想い

1. はじめに

1. はじめに：自己紹介



やすじま めい

安島 芽生

慶應義塾大学理工学部
システムデザイン工学科3年

経歴

- ・豊中市立南桜塚小学校 卒業
- ・豊中市立第三中学校 卒業
- ・大阪府立北野高等学校 卒業
- ・慶應義塾大学理工学部に入學
- ・現在 理工学部システムデザイン工学科に所属

その他

出身：大阪府豊中市

興味：建築・都市のサステナビリティデザイン
学校教育

Mail : mayyasujima@keio.jp

1. はじめに：参加のきっかけ

高校卒業まで豊中市で過ごす 



大学（神奈川）で
地域と人と繋がるイベントを開催



地元のコミュニティにも関わりたい
(貢献意欲・恩返し)



↑大学生ブックキャラバン（横浜市立日吉台小学校）



↑探究活動サポート（横浜市立師岡小学校）⁵

1. はじめに：参加のきっかけ

— 2025年3月、南桜塚小にてSDGs実践イベントを開催（2日間） —



★ **単発ではなく、持続可能な取り組みを！**

1. はじめに：私の思い

公教育の場で三者連携による
より質の高い学びを実現する

2. 背景・目的

2. 背景・目的

**人間がAIと共存する時代。
子どもたちに求められる力って？**

2. 背景・目的

AIが得意なこと

- ・情報処理・収集の効率化
- ・パターンの発見と分析
- ・資料作成のサポート

AIが苦手なこと

- ・課題発見
(潜在的なニーズや課題を掘り起こすこと。)
- ・実践的に社会とのつながりを生むこと。

2. 背景・目的

AIが得意なこと

- ・情報処理・収集の効率化
- ・パターンの発見と分析
- ・資料作成のサポート

AIが苦手なこと

- ・課題発見
(潜在的なニーズや課題を掘り起こすこと。)
- ・実践的に社会とのつながりを生むこと。

2. 背景・目的

「課題を発見する力」



「社会とつながる力」



2. 背景・目的

民間での探究活動が全国各地で盛り上がっている

＊ 映写のみ

2. 背景・目的

なぜ公教育の現場では十分に行われていないの？

2. 背景・目的



小学校での探究の時間は、行事準備や
主教科の補完に充てられることが多い。

（豊中市内 小学校教員）

教員の時間的制約や探究活動に関する
ノウハウ不足が課題。

（豊中市内 中学校教員）



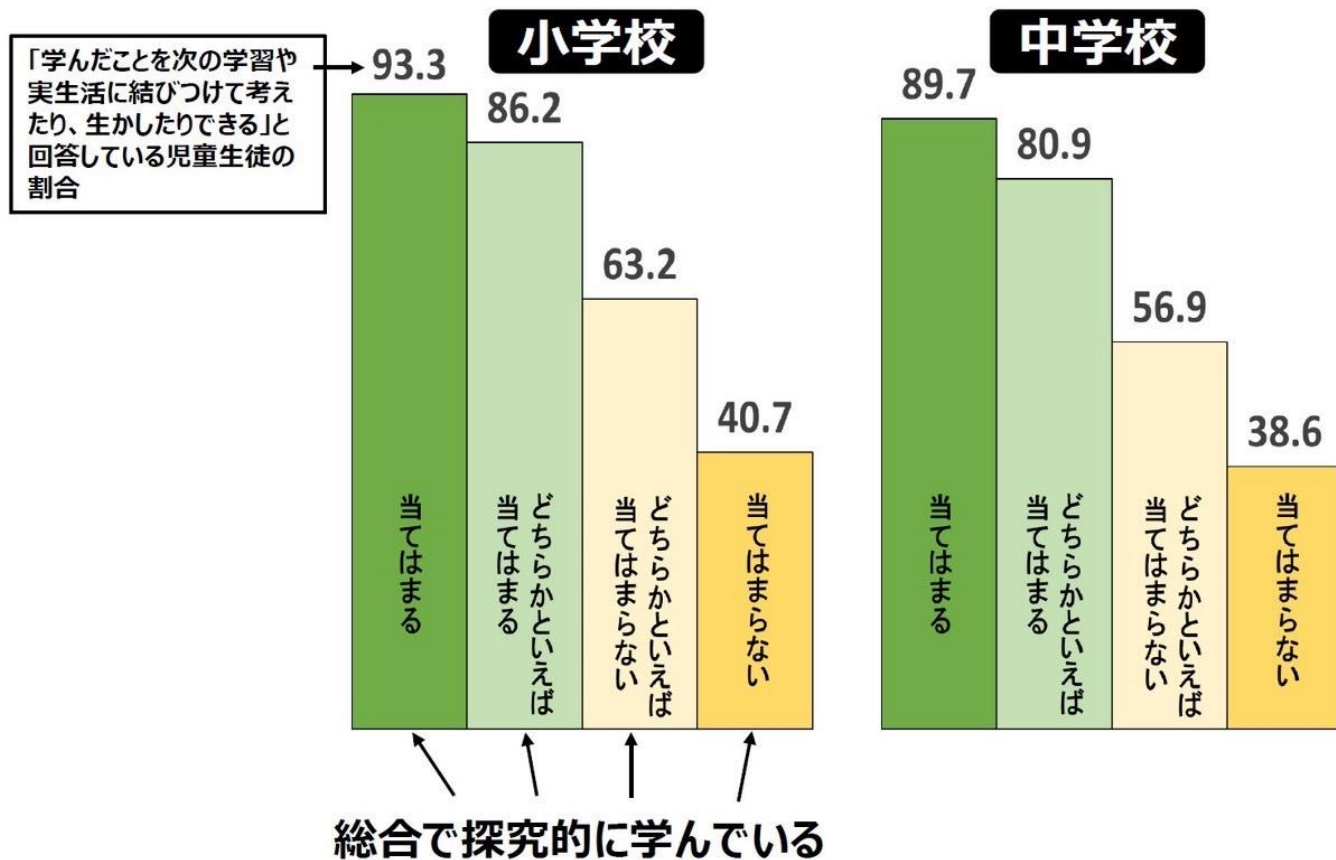
2. 背景・目的

質の高い探究活動しなくていいの？

2. 背景・目的：R6全国学調より

R6全国学調

「探究的な学び」に取り組む児童生徒は、授業で学んだことを「次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできる」割合が高い傾向



「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」

※傾向とは、事実関係を記述したものであり、因果関係を示すものではない。

(出典) 令和6年度全国学力・学習状況調査 14

2. 背景・目的

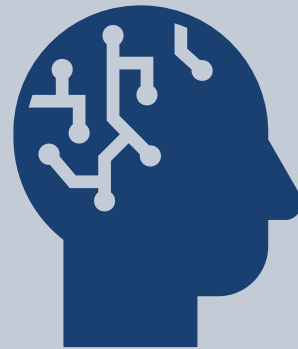
「課題を発見する力」



「社会とつながる力」



総合的な学習の時間



3. 事業概要

3. 事業概要

質の高い学びの実現のためにどんなことするの？

3. 事業概要

カリキュラム作成



PDCAサイクル
の実践



学びコミュニティ





カリキュラム作成

1

生徒像の決定

2

ねらいの決定

3

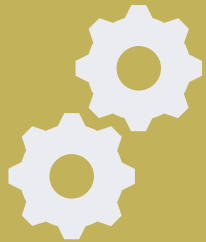
スケジュール管理

4

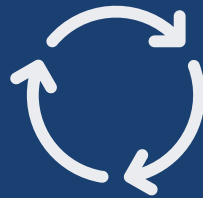
指導案の作成

3. 事業概要

カリキュラム作成



PDCAサイクル
の実践



学びコミュニティ

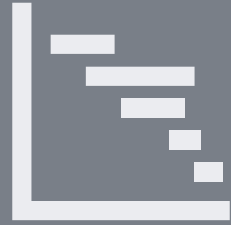




PDCAサイクルの実施

① Plan

課題の発見



② Do

調査・実行



④ Action

振り返り
課題提示



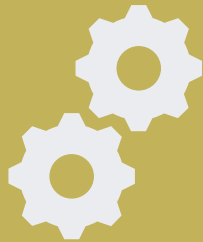
③ Check

まとめ・表現



3. 事業概要

カリキュラム作成



PDCAサイクル
の実践



学びコミュニティ





学びコミュニティ

教員

熱意はあるけど、
時間がない
アイデアが浮かばない



学生

教育に関わってみたい
自身の経験・専門を活かしたい
子どもが好きだ

4. 今年度実施スケジュール

4. 今年度の実施スケジュール

2026年1月～3月

野畑小学校5年生を対象に
探究活動（キャリア学習）を実施予定

○大学生スタッフ / 運営メンバーの募集

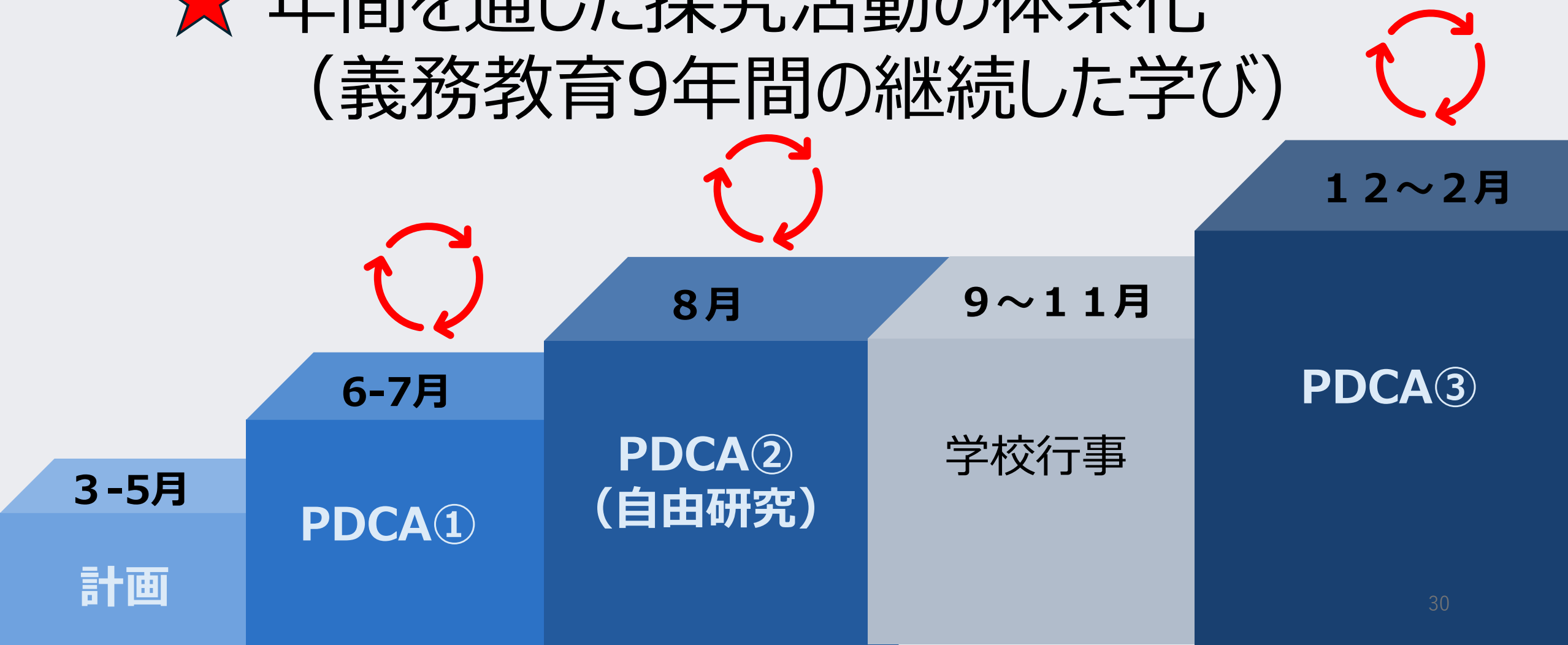
○キャリア学習の教材作成

○地域の方への声かけ

5. 来年度以降の展望

5. 来年度以降の展望

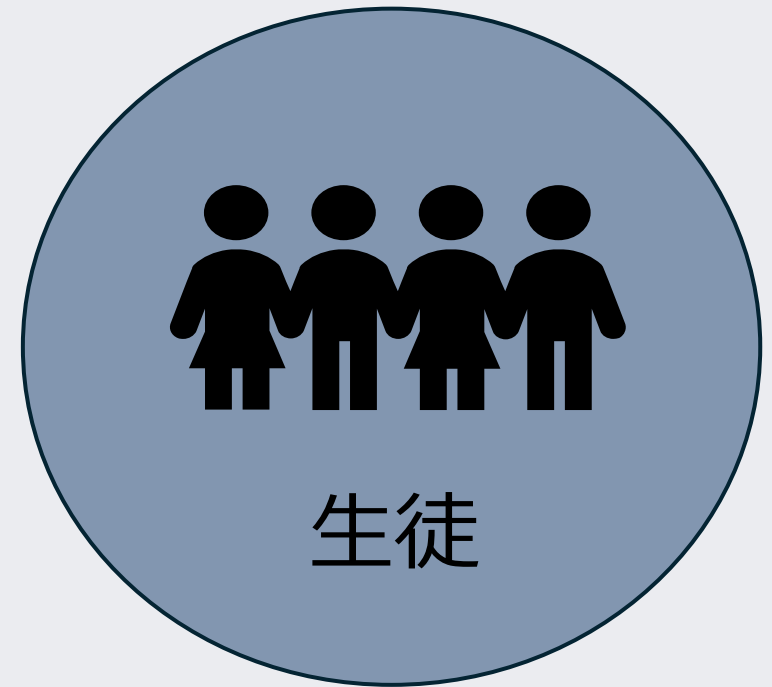
★ 年間を通じた探究活動の体系化
(義務教育9年間の継続した学び)



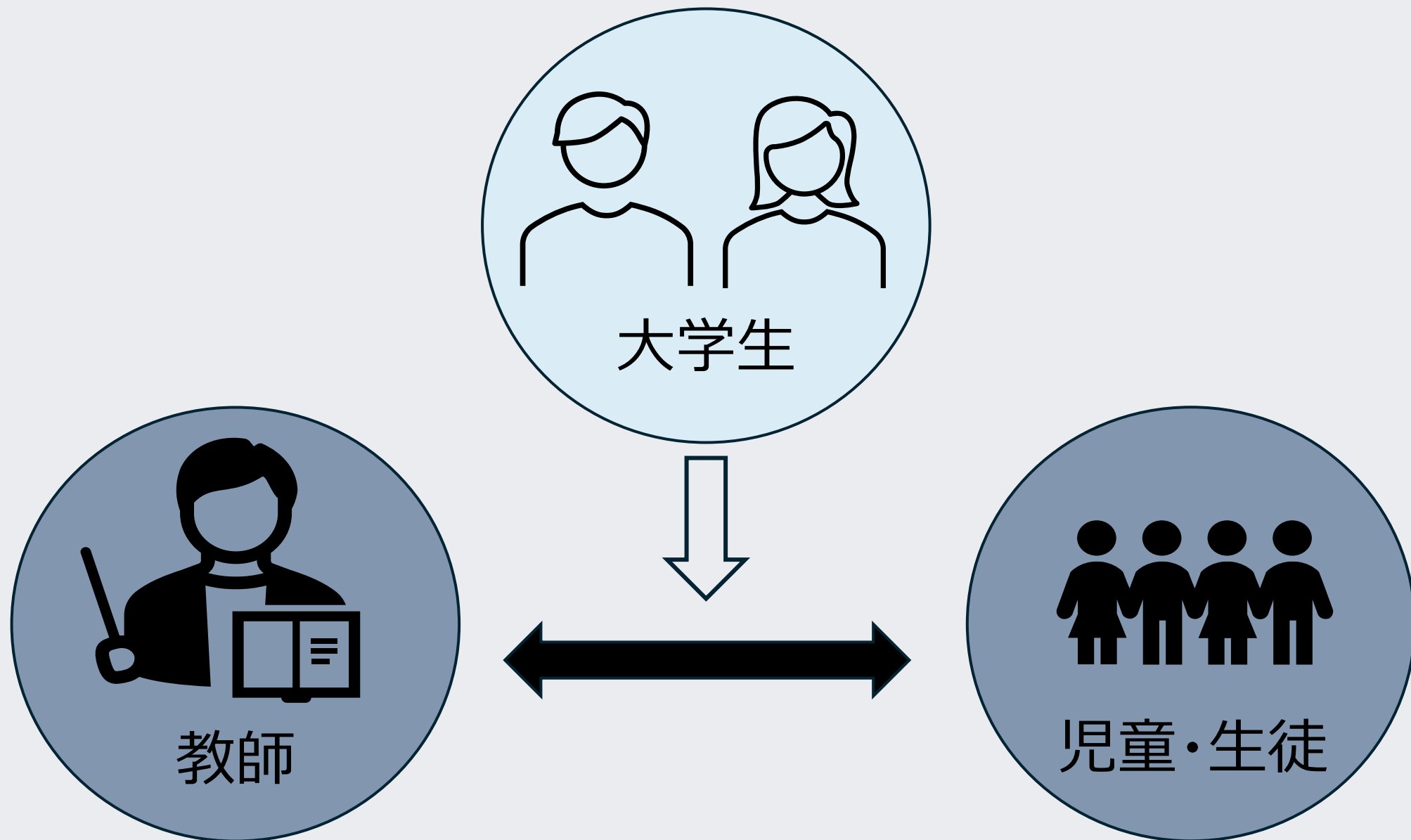
6. 期待される効果

6. 期待される効果

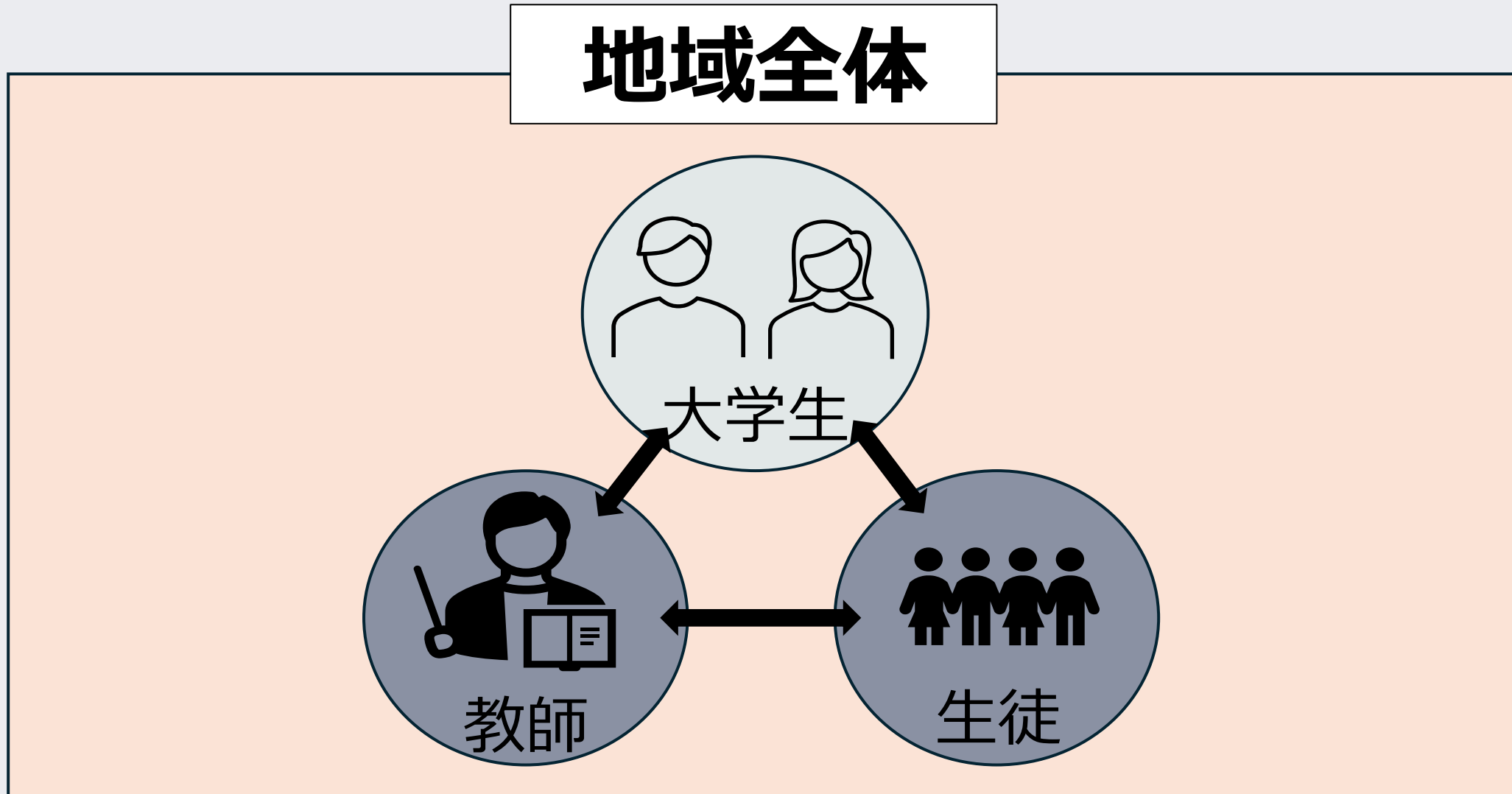
<従来の学校教育の学びの形態>



6. 期待される効果

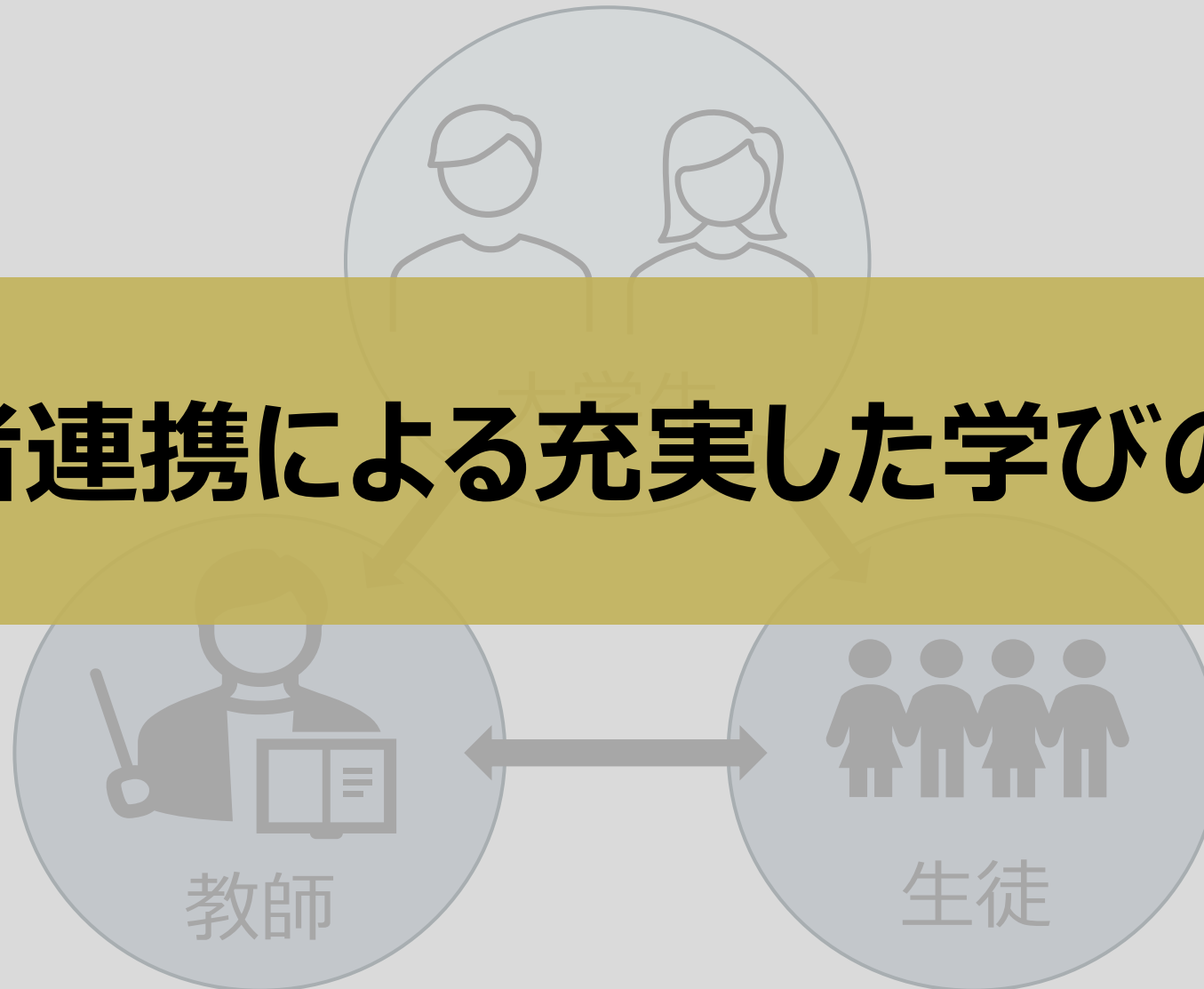


6. 期待される効果

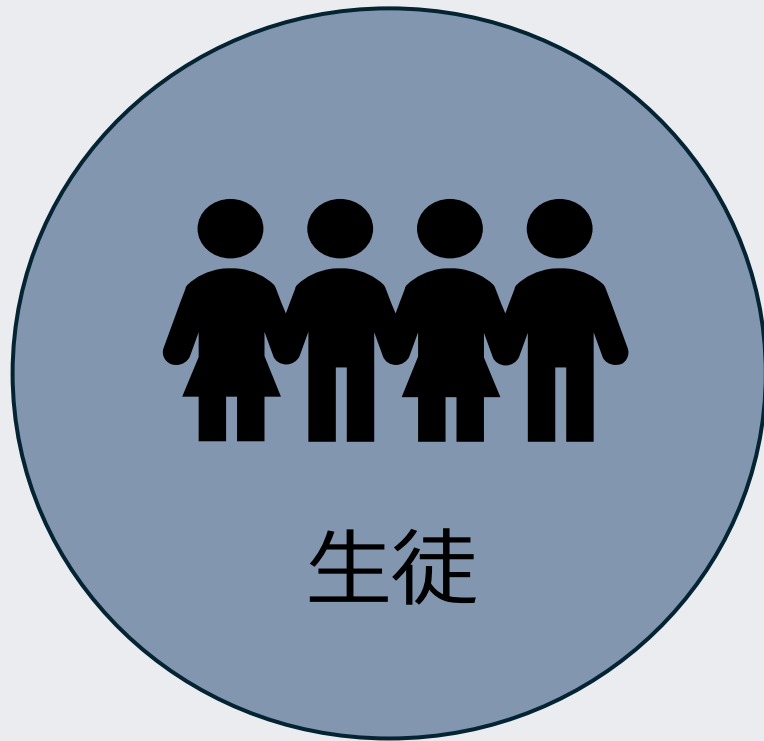


6. 期待される効果

三者連携による充実した学びの実現



6. 期待される効果



- ・地域社会と広く関われる
- ・サポート体制が充実する
- ・将来の進路選択が身近になる

6. 期待される効果



- ・業務負担を軽減できる
- ・探究活動スキルが向上する

6. 期待される効果

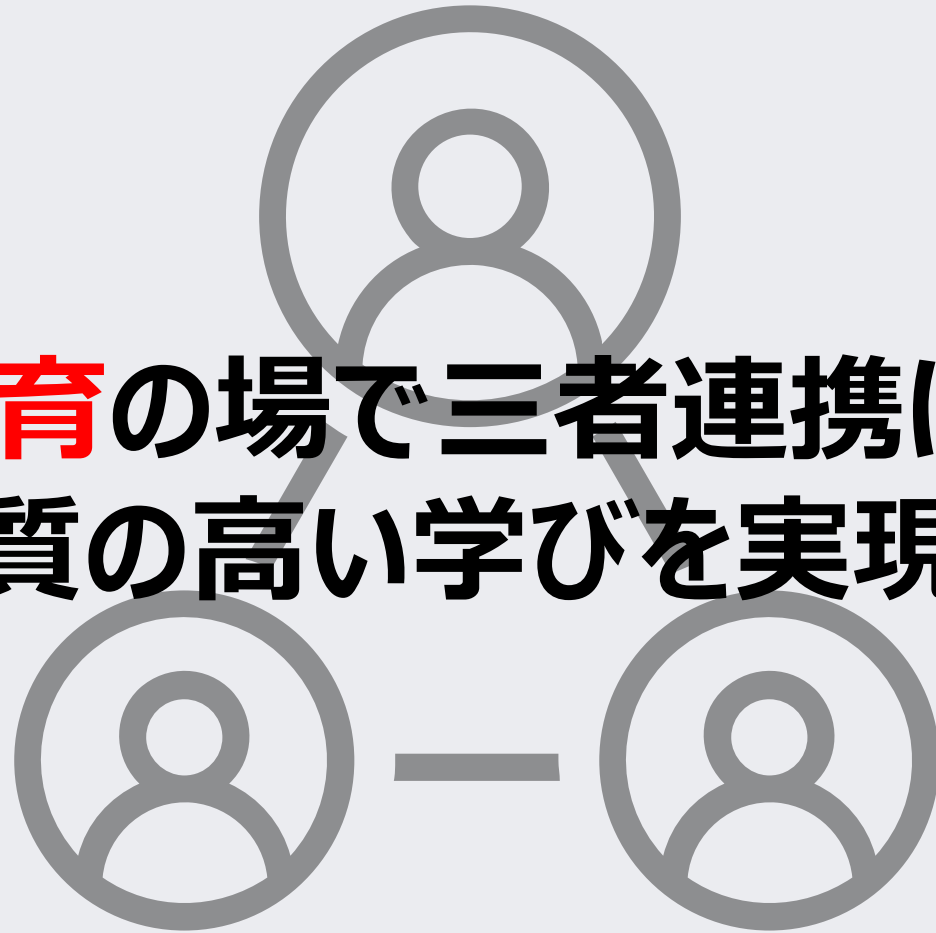


- ・生徒の柔軟な発想に触れられる
- ・自身の学びを活かせる

7. 私の思い

7. 私の思い

公教育の場で三者連携による
より質の高い学びを実現する



7. 謝辞

*映写のみ

まなびリンク

ご清聴ありがとうございました！